

令和5年度



赤羽根の里だより

茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和5年5月15日(月)

校長 高橋 励



～保護者の皆さまへ～

いよいよ体育祭！

先週月曜日はあいにくの雨のスタートでしたが、体育祭に向けた練習期間も一週間が過ぎました。明日17日に予行、20日には本番を迎えます。今週1週間は天気予報とにらめっこになりそうです。



上の写真は朝8時前のグラウンドの様子。先週から体育祭実行委員が、練習の進め方の確認や練習に必要なライン引きなど、準備に取り組んでくれています(早朝のお弁当の準備など保護者の方にもお力添えいただいています。ありがとうございます)。こんな実行委員を筆頭に、皆、すてきな体育祭にしたいと自分の役割に取り組んでいます。体育祭や合唱祭は当日のパフォーマンスだけに目が向けられがちですが、保護者の皆さま・地域の方々には、当日の子どもたちの姿の向こうに、そこに至るまでの一人ひとりの想いを感じていただければうれしかぎりです。今週も応援お願いいたします。



“多様な情報いっぱい”の宝箱

～図書室オリエンテーション～

体育祭の練習もありますが、それだけでは終わらないのが中学校。学習にもしっかり取り組んでいます。



先週、1年生対象の図書室オリエンテーションの場面に会いました。“活字離れ”というコトバを耳にするようになって久しいですが、学校司書さんのチョイスした本の紹介につられて、興味なさそうにしていた子どもの顔と体がだんだん引き込まれていくようすを見ながら、好奇心の種はそれぞれの子どもの中にたくさんあると感じられました。

昨年度から、学校の図書室も図書カードから電子管理へと移り変わり、書籍の貸し出しもバーコードリーダーで行うようになりました。様々な情報媒体を、目的に応じて活用することは、教科を越えて求められている“力”でもあります。図書室は、使い方を知っている人には宝箱。ご家庭でもWebテキストだけに偏らず書籍に親しむ環境作りにご協力ください。